

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol.
99
2025
winter



旬の文化が集うコミュニティマガジン

季刊
ブンカ

BUNKA
vol.99
2025.12.15



ふくい文化創造センターのご案内
第3回 ふくい文化創造センター活動ニュース

発行/公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎0776388288 <https://www.pnlp.jp>



公益財団法人
福井県文化振興事業団



ハーモニーホールふくい

瓜割の滝(若狭町)



天徳寺の庭園は、江戸初期天和年間に造られた枯滝式池泉庭園。傑出した作庭技術を駆使した名庭で知られる。

水の森の奥深く湧き出る若狭の名水

瓜割の滝は、若狭の古刹・天徳寺境内の森の奥にあります。岩間から湧き出る水のあまりの冷たさに瓜が割れたという言い伝えから、こう呼ばれるようになったとか。五穀豊穡、諸病退散の霊験があると信じられ、周辺は古くから「水の森」として人々に敬われてきました。

環境省「名水百選」のひとつで、2016年の選抜総選挙では「おいしさ部門」で第2位を獲得。源泉から引く水汲み場には、一年中訪れる人が絶えません。地下水のため、年間を通して水温は一定。厳冬の時はぬるく感じられ、ミネラル成分が溶け込んだ水が、体のすみずみに染みわたります。

岩場には淡水ベニマダラという珍しい赤藻類が繁殖し、赤い岩と緑の苔、白い水しぶきが神秘的な風景を描きます。晩秋の紅葉に冬の雪景色。天に向かって真っすぐ伸びる木々から時折差し込む、神々しいまでの日の光。水の森はいつも、私たちにやさしく迎えてくれます。

※表紙の写真は、上下左右360度を一度に撮影出来る特殊なカメラで撮影した写真を画像処理したものです。

天徳寺 瓜割の滝
場所 / 三方上中郡若狭町天徳寺
アクセス / ●JR上中駅から徒歩約20分 ●舞鶴若狭自動車道若狭上中ICから車で約15分 ※名水持ち帰り売店で300円のシールを購入
(問い合わせ) 若狭町観光まちづくり課 TEL.0770-45-9111

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 TOP INTERVIEW アートと私 増田喜一郎氏(株式会社 増田喜 代表取締役)
- 3 Interview 人の心を動かし、楽しませる それが僕の生きがい 俳優 丘山晴己氏
- 5 ミュージカル 雪の女王
- 7 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 2026年1~3月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 10 越のルビーアーティスト 杉原夏海氏(フルーティスト)
- 11 ふくい文化創造センターのご案内 第3回 ふくい文化創造センター 活動ニュース
- 13 アートシーン〈キーパーソン〉横町編集部 代表 三浦紋人さん
(アートの息吹) AKUSHU (福井市) / 〈アートプロジェクト インフォメーション〉
- 15 寄稿 福井城を“葵城”と呼ぶ 古里の記録 櫻川幸夫氏(建築家)
- 16 古きを訪ねて 武生天神(丹南地域/鯖江市・越前市・越前町・南越前町・池田町)
- 17 Essay 創造性をまちの力に 一越前市のユネスコ創造都市ネットワーク加盟に寄せて一 文 朝倉由希氏
- 18 Information

TOP INTERVIEW
アートと私

株式会社 増田喜
代表取締役

増田喜一郎氏

環境や資源への思いやりを文化の力で育む。

遊びから学ぶエコ教育を
リサイクル事業の一環に

当社は1949年に祖父が設立。古紙を中心に資源リサイクル事業を営んでいます。私が入社した27年前は、廃品を扱う仕事を見下す人も多かった時代。辛い思いをした経験から、会社と業界全体のイメージを変えていきたいと思います。

福井営業所開設の2006年にロゴマークを作り制服を一新、若手人材を雇用しました。その後、京セラ

の創業者である稲盛和夫さんの盛和塾へ参加。社会貢献が当社の使命だと気づき、リサイクルを通して自然や人に対する理解を深めるといった心の醸成にも力を入れています。子どもたちに資源の大切さや、再利用の意義を教えるキャラクター「エコ紙マン」を講師役に、2015年から、紙の分別リレーや紙漉き体験を盛り込んだ「紙リサイクル教室」を開催。その中で生まれたのが「エコかるた作り」でした。絵を描くのが好きな母が、「絵を使って子どもが遊べるものを」と、思いついたのです。

反響を呼んだ「エコかるた」
文化活動が持つ可能性

最初は、かるたの絵の募集を考えただけですが、一緒に企画を考えた福井新聞社の方などに相談し、子どもたちが環境や資源について考えるきっかけになる標語を募集することにしました。応募作品の中から読み札にする44篇を選考。取り札の絵は、当時、株式会社社五の会長で、絵手紙教室の講師をされていた多田邦夫さんに描いていただきました。2017年5月に完成し、県内の幼稚園と小・中学校全校に配布して、とても喜んでいただきました。



エコかるたは、福井新聞社との企画で「みらい・つなぐ・ふくい・エコかるた」と名付けられた。来客の目に触れる1階応接室のテーブルに並べられ、2階応接室には標語と絵を貼った屏風が置かれている。

俳優

丘山 晴己

Haruki Kiyama

人の心を動かし、楽しませる
それが僕の生きがい



2月に再演されるハーモニイホールふくいのオリジナル・ミュージカル『雪の女王』で、題名役の雪の女王を演じる丘山晴己さん。チャシのビジュアルで女王の白い衣裳を身に纏った丘山さんの神秘的な美しさに驚かれた方も多いのではないだろうか。日本人として初めてアメリカのオン・ブロードウェイ作品に出演し、日本では2・5次元ミュージカルやデザインの仕事

でも活躍する丘山さんの人生をひも解き、表現者としての本質に迫ります。

日本舞踊とバレエで培った 舞台の基礎力

日本舞踊家の父とバレリーナの母のもとに生まれた丘山さん。初舞台は3歳の時。日本舞踊の会でした。

「前から3列目に座っていた祖母が涙を流していたのが、鮮烈な記憶として残っています。その後、母の影響でバレエも始めて、どっちが向いているのかな、と考えたりしたんですが、とにかく人前が出るのが楽しくて仕方なかった。家族でアメリカのデイズニールランドに行った時、バレエを待っている間に誰もいない通路に出て行って踊ったら周りの人から“フー!”って喝采を浴びたことがあって、そこから、お客様を喜ばせることが僕の生きがいなんだ、と思うようになりました」

中学卒業時に両親と共にフィラデルフィアに渡り、フィラデルフィア芸術大学でパフォーミング

技術よりもスピリット ブロードウェイで学んだこと

2008年の大学卒業後は、ブロードウェイのオーディションを年間500回も受けたという丘山さん。最初の大きな舞台である「Radio City Christmas Spectacular」に合格した時には、最終オーディションで一人だけ笑顔で踊っていたことが評価されたそうです。

「晴己だけが笑顔で踊っていた。ここまできたら技術があるのはわかっている。大切なのはそのスピリットなんだよ」とディレクターに褒めてもらって大泣きしちゃいました。子ども時代からの、お客様を喜ばせることが大好きという思いが、舞台のプロとしても大切なんだと繋がった瞬間でした」

2017年にミュージカル「RENT」に出演するために日本に帰国した丘山さんは、「ス

タミュ」刀剣乱舞」など2・5次元の舞台にも出演し始めます。

「2・5次元でもお客様を楽しませるとい意味ではブロードウェイと同じ。ただ当初は、開幕前に円陣を組んだり、役者がセットを動かすのを手伝ったりする日本の習慣に驚きました。アメリカでは職務の分担がはっきりと分かれているので、俳優がスタッフの仕事を手伝うのはあり得ないんです。僕は最初アメリカ流にやってしまったので、周りの人はだいたい驚いたんじゃないかな(笑)。でもそのうち、円滑なコミュニケーションのために必要なことなんだと理解するようになったので、今は誰よりも張り切って円陣組んでいます(笑)」

「何より生演奏と一緒に演じられるのが嬉しいです。また、パイプオルガンを氷の城に見立てるといいう広崎うらんさんの演出も楽しみ。おそらく僕の持っている中性的な雰囲気を買っていただいているんだと思います。が、この思い切り、女王感を出していくのも面白いんじゃないかな、と考えています」

誰よりも舞台で生きることを愛する丘山さんの雪の女王が、私たちの心を描きぶつてくれるに違いありません。

構成・文/室田尚子
(音楽評論家)

音楽を味方につけて 丘山晴己流の“女王”を

ミュージカル『雪の女王』に出演することを「日本でトップクラスの音響を持つハーモニイホールふくいで演じることを光榮に思っています」と語ってくれた丘山さん。



TEDDY SUNとして個展やBE@RBRICKなどとコラボし、世界を中心に総合芸術家として活動している。

2026.2/20(金)~23(月・祝)

HARMONY HALL FUKUI presents
ミュージカル『雪の女王』

4回公演 大ホール/開場 13:15 開演 14:00
S席・車いす席 ¥4,500 A席 ¥3,500
B席 ¥3,000 (小~大学生:半額)
原作/アンデルセン
脚本・作詞/高橋知伽江
作曲・音楽監督/笠松泰洋
演出・振付/広崎うらん

※詳細はP.5-6へ

きやま・はるき●日本舞踊家の父とバレリーナの母の間に生まれる。14歳で渡米。日本人でありながらブロードウェイに立った異色の経歴をもつ。また、アーティストとして個展を開くなど、芸術面における才能を多岐に披露している。性格はポジティブでネガティブな思想や発言は皆無。主な出演作はブロードウェイ公演「The Illusionists」、ミュージカル「RENT」、ミュージカル「刀剣乱舞」、ミュージカル「Fate/Zero」「HUNTER×HUNTER」THE STAGE等。

雪の女王

「高く掲げよう、希望の灯火を」
今を生きる人に贈る、愛と勇気の物語

脚本・高橋知伽江×作曲・笠松泰洋×演出・広崎うらん
福井発の豪華ミュージカルが、新たなキャストと演出で待望の再演！
2026年、雪の女王の世界がさらなる輝きをまとうって降臨します。

2022年9月にハーモニーホールふくい開館25周年記念公演として生まれたミュージカル『雪の女王』が、装いも新たに帰ってきます。アンデルセンの童話をもとにした福井発のオリジナル・ミュージカルとして、初演時はチケット2000枚がまたたく間に売り切れるなど大きな話題となりました。今回は、10名だったメインキャストを14名に増やし、新たなシーンも追加した新演出版として、さらにパワーアップした舞台となります。

『雪の女王』はデンマークの国民的童話作家アンデルセンの代表作。悪魔の鏡の欠片が目にしたことで、雪の女王に連れ去られてしまった少年カイ。親友の少女ゲルダは、カイを探す旅に出ます。

太陽や花や動物たちに助けられながら進むゲルダですが、途中山賊に襲われ危ない目に遭いながら、ついに雪の女王の宮殿にたどり着きます。果たしてゲルダはカイを救出することができるのでしょうか。

脚本と歌詞を手がけたのは、ディズニーのアニメ映画『アナと雪の女王』の劇中歌「Let It Go」の日本語版『ありのままに』を手がけたことで知られる高橋知伽江。彼女はこの物語を『普通の少女であるゲルダが一生懸命生きること、最後はとても大きなことを成し遂げることができる。普通の人々を勇気づける話』だと語っています。今回、いくつかのシーンに変更があり



2022年の公演から ©office Photo Style

王を登場させることで、実は雪の女王は自然の中で人間の暮らしが順調にいよいよ見守っている存在だということを示すつもりです(高橋)

今回、そんな雪の女王を演じるのは、日本人として初めてオン・ブロードウェイの舞台に立ち、現在は2・5次元舞台などで活躍している丘山晴己。男性が演じる雪の女王ということで、前回とはまた違った強さや神秘性が生まれてくるのではないかと期待のこもったキャスト

テイニングとなりました。また前回と同様、俳優の鶴見辰吾が語り手・魔女・山賊の頭領を務めるほか、三役をこなすキャスト陣には、オペラ歌手として数多くの舞台に出演する小林大祐と北川辰彦、前回から引き続き出演するGOH IRIS WATANABEや岡野一平、蛭牟田実里など多彩なメンバーが集結しました。ゲルダとカイがダブルキャストで演じられるのにも注目。ミュージカルで活躍するベテラン折井理子と現役音大生の中

城杏梨、前回に引き続き出演の古田伊吹と若手ミュージカル俳優の石津秀悟が、それぞれ違ったゲルダとカイを見せてくれるはず。県民オーデションで選ばれた60名のアンサンブルと、越のルビアーティースを中心とするオーケストラとともに、新たな解釈で贈る『雪の女王』。ぜひ大人の方にこそ観ていただきたいミュージカルです。



2026.2/20(金)~23(月・祝) チケット発売中

HARMONY HALL FUKUI presents ミュージカル「雪の女王」

4回公演 大ホール/開場 13:15 開演 14:00
S席・車いす席 ¥4,500 A席 ¥3,500 B席 ¥3,000 (小~大学生:半額)
原作/アンデルセン、脚本・作詞/高橋知伽江、作曲・音楽監督/笠松泰洋、演出・振付/広崎うらん
出演/ 鶴見辰吾(語り手 ほか)、丘山晴己(雪の女王)、折井理子/中城杏梨(ゲルダ)、石津秀悟/古田伊吹(カイ)、小林大祐(トナカイ ほか)
北川辰彦(悪魔 ほか)、GOH IRIS WATANABE(バラの精 ほか)、篠木隆明(山賊の娘カリン ほか)、井上一馬(雪の軍団 隊長 ほか)
蛭牟田実里(オーロラの精 ほか)、岡野一平/橋末佐子(ハイト ほか) ほか、総勢90名 ※Wキャスト
演奏/指揮:清水麗輝、コンサートミストレス:松谷由美(京都市交響楽団)、ヴァイオリン:若上杏子、ヴィオラ:山口梨恵、チェロ:山内睦大
コントラバス:西口 勝(京都市交響楽団)、フルート:内田彩菜美、オーボエ:高山裕子(京都市交響楽団)、クラリネット:前川明音
ハーブ:佐々木美香、ホルン:長谷川陽一、打楽器:マリリン、平岡愛子、山崎智里、オルガン:長谷川佳子

全日程あわせて先着450名様無料ご招待!

対象/小学1年生~18歳以下
受付期間/2026.2/6(金)17:00まで
詳細はこちら

INTERVIEW

折井理子 (ゲルダ) ※Wキャスト
3人の子供を持つ私は、フレッシュさ！を目標に、芯が強く、諦めない、明るく優しいゲルダを演じられたらと思います。大学生でお顔も雰囲気もとても可愛い中城さんと仲良く話し合いながら、ゲルダ役を作っていけたらと思っています。ハーモニーホールふくいの写真を見たことがあるのですが、緑や池に囲まれた壮大な建物で、その幻想的な美しさに息を呑みました。東京では味わえないであろう、贅沢なハーモニーを堪能して頂けるように、その一端を担えるように頑張ります。

中城杏梨 (ゲルダ) ※Wキャスト
ハーモニーホールふくいの写真を見たとき、とても厳かな雰囲気の中に暖かさが感じられてすごく心惹かれました。絶対にこの舞台で演じたいと思いオーディションに応募しました。知らない場所へも勇気を持って進んでいくゲルダに少しでも近づけたらと思い、オーディション前には会場の周りを歩いて、ワクワク感や緊張感をゲルダと重ねてイメージしたのを覚えています。福井のみなさんやカンパニーの方々と共にこの物語を生きる時間を大切にしながら私自身も成長していきたいと思っています。

石津秀悟 (カイ) ※Wキャスト
カイという少年は、純粋さや葛藤、そして成長を象徴する存在だと思います。その心の変化を丁寧に掘り下げ、彼の中にある「信じる力」や「希望」を、自分自身の声と身体を通して誠実に表現していきたいです。大学では音楽を専攻しており、コンサートホールで歌う機会が多かったです。今回その馴染み深い場所でミュージカルを上演できることに、強い喜びと大きな期待を感じています。ホールに響く音を体で感じながら、お客様と一体となって「生の音楽」を共有できる時間を大切にしたいと思います。

古田伊吹 (カイ) ※Wキャスト
オーディションの結果を聞いた時、再演でもカイ役を演じたいと強く思っていたので、本当に嬉しく思うと同時に、身が引き締まる気がしました。ダブルキャストの石津さんは、オーディションでお会いしたときからものすごく魅力を感じていた役者さんのおひとりだったので、同じ役と一緒に作っていくのが楽しみです。お互いに刺激し合い、影響し合いながら、稽古に励みたいと思っています。初演で自分が掴んだ感覚も大切にしつつ、新鮮な心と身体で作品に向き合いたいです。

小林大祐 (トナカイ、村人、鏡の中の悪魔)
2019年に日生劇場の「ヘンゼルとグレーテル」公演で広崎うらんさんの作品へのアプローチに刺激を受けました。「雪の女王」の再演があると知ってから絶対オーディションを受けると決めていました。オペラばかりやってきたので不安はありましたが、結果を聞いて本当に嬉しかったです。母の生まれが福井で、僕自身も同じ北陸の富山の生まれということで、福井の地には特別な想いがあります。地元の方々と一緒に協力して、「雪の女王」に新しい風を吹かせて、良い化学反応をおこしたいと思っています。

北川辰彦 (悪魔、山賊、雪の軍団副隊長)
ミュージカルの公募は珍しく、また福井であるということもあって応募しました。実は能登に祖母がおり、まだまだ復興中のところも多いのですが、可能ならぜひ能登の皆さんにも見てもらいたいと思っています。僕自身ミュージカルへの出演は久しぶりですが、滅多に組めない他業種の歌手の方や俳優さんたちと一緒に仕事ができるのがとても楽しみです。広崎うらんさんの爆発的なエネルギーはオペラでも一緒に感じており、この「雪の女王」でもどんなものが生まれるのか、今から期待しています！

自主公演情報



箏：澤村祐司



尺八：藤原道山

「ミュージック・イン・ザ・ダーク」は、視覚障がいのある演奏家と視覚障がいのない演奏家によるアンサンブルが、照明をすべて消した暗闇の空間で

暗闇の中で五感を研ぎ澄ます特別な音楽体験を

協賛：株式会社増田舎

ミュージック・イン・ザ・ダーク®
～闇に響く音～

2026.3.15 日

14:15開場 15:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000
(小～大学生:半額)

障がい者手帳をお持ちの方・介助者:各¥2,500

障がい者手帳をお持ちの学生:¥1,000

出演/尺八:藤原道山、箏:澤村祐司

企画構成/新井鶴子

曲目(予定)/宮城道雄:春の海

アメイジング・グレイス ほか

〈監修〉(公財)横浜市芸術文化振興財団

(協力)東京藝術大学

福井県視覚障がい者支援ネットワーク 羽二重ねっこ

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)

会員先行 特別協賛:12/16(火) 友の会:12/17(水)

一般 12/20(土)

演奏するコンサートです。2015年に東京藝術大学の取り組みとしてスタート。これまでに横浜みなとみらいホールで演奏会を重ねてきましたが、今回、ここ福井で初めて開催する運びとなりました。出演は、尺八の藤原道山と箏の澤村祐司という邦楽界の名手ふたり。「春の海」や「アメイジング・グレイス」などの名曲が、漆黒の空間に響きわたります。誰もが「何も見えない」という同じ条件で音と向き合うことで感覚が研ぎ澄まされ、気づかなかった音の細やかな表情や、旋律に潜むメッセージを全身で感じ取ることができるに違いありません。

ホールのスタッフも、視覚障がいのある協力者や関係者を交えた研修を通して、より良い鑑賞サポートのための準備を行なっています。「聴きたい」人が誰でもアクセスできる「共生」の空間を目指して、この春、ハーモニホールふくいが第一歩を踏み出します。



美音

家族そろって楽しめる名曲で綴るグリム童話

ロバと犬と猫とニワトリが、悪い泥棒をやっつけて音楽を演奏しながら楽しく暮らすグリム童話「ブレーメンの音楽隊」。その世界を、クラシック音楽

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ

越のルビープロジェクト
美音
～クラシック de ブレーメンの音楽隊～

2026.3.7 土

10:15開場 11:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥2,000
(0歳～高校生:半額)

出演/ソプラノ:谷口琴音、テノール:近藤洋平

ヴァイオリン:西森久美子、フルート:杉原夏海

ピアノ:星野いづみ

曲目/ブライヤー:口笛吹きと犬

アンダーソン:ワルツィングキャット ほか

先着30名様無料ご招待!

対象/0歳～18歳以下
受付期間/12/20(土)10:00～ 詳細はこちら
2/21(土)17:00まで

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)

会員先行 特別協賛:12/16(火) 友の会:12/17(水)

一般 12/20(土)

楽の名曲とともにお届けするのがアンサンブルユニット「美音」です。鯖江市出身・富山在住で、ふるさと鯖江文化大使・ふくいブランド大使も務める越のルビーアーティストのフルート奏者・杉原夏海が、同じく富山在住のアーティストとともに2023年8月に立ち上げました。クラシック音楽のほか、ミュージカルやジブリの音楽、合唱曲など幅広いレパートリーで、さまざまな年齢層のお客様に音楽をお届けしています。

メンバーは杉原、ソプラノの谷口琴音、テノールの近藤洋平、ヴァイオリンの西森久美子、そしてピアノの星野いづみの5人。今回の「クラシック de ブレーメンの音楽隊」は休憩なしの60分のコンサートで、0歳から入場可能。さらに高校生まではチケット代が半額に！お子さまのコンサートデビューにもピッタリの「美音」に、どうぞご家族そろっておいでください。



ウィーン・リング・アンサンブル

2026年のニューイヤヤーは
極上のコンサート二選で決まり!

2026年1月のハーモニホールふくいは、2つのプレシャスなコンサートをお贈りします。

新年のスタートを飾るのは、おなじみ「ニューイヤヤーコンサート」。2026年はウィーン・フィルの現役・OBメンバーが集まって結成されたウィーン・リング・アンサンブルが登場。ニューイヤヤーコンサートといえば欠かさないヨハン・シュトラウス一家のワルツやポルカを中心に、「これぞウィー

ン」という音楽をたっぷり演奏してくれます。

ヨハン・シュトラウスII世といえば、ウィーンの人たちがこよなく愛する「我が街の音楽家」。市立公園にある有名な金色の銅像は1921年に建てられたもので、戦争の時代を経て今ではウィーンの観光名所のひとつとなっています。そんなヨハン・シュトラウスとともにウィーンっ子たちが誇りにしているのがウィーン・フィルハーモニー管弦楽団。ウィーン・リング・アンサンブルは、そのウィーン・フィルのコンサートマスターを45年も務めたライナー・キュッヒルを中心とした9人のメンバーで構成されています。本場ウィーンながらのニューイヤヤーコンサートで、幸せな新年のひとときを過ごしてみませんか。

その1週間後に行われるのは、「ステージできく」プレミアムコンサート。大ホールのステージ上に客席を設置し、極上の室内楽をお楽しみいただけます。出演は、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターの近藤薫、数々の国際コンクールで優勝している川久保陽紀、NHK交響楽団首席ヴァイオリン奏者の佐々木亮、元ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽



リヴァラン弦楽四重奏団

チェロ：遠藤真理

団首席チェロ奏者のクリスティアン・ギガの4人から成るリヴァラン弦楽四重奏団。ゲストには、ソリストとして、また読響のソロ・チェロ奏者として活躍する遠藤真理を迎えます。

プログラムはモーツァルトの「ディヴェルティメント」で始まり、ナチスの強制収容所で命を落としたヴィクトール・ウルマンの「弦楽四重奏曲第3番」、そしてシューベルト最晩年の傑作であり室内楽の最高峰といわれる「弦楽五重奏曲ハ長調」の3曲。世界的アーティスト5人が奏でる音楽を、ステージ上という特別な空間で体験できるまたとない機会。きつと魂が震えるようなひとときになることでしょう。

協賛：URALA communications

「ステージできく」プレミアムコンサート
近藤薫プロデュース
リヴァラン弦楽四重奏団
+1(プラス・ワン)福井公演

2026.1.18 日 チケット発売中

14:15開場 15:00開演/大ホールステージ

全席指定・車いす席 ¥4,000(小～大学生:半額)

出演/ヴァイオリン:川久保陽紀、近藤薫、ヴィオラ:佐々木亮

チェロ:クリスティアン・ギガ、ゲスト:遠藤真理(チェロ)

曲目/モーツァルト:ディヴェルティメント K.138

ウルマン:弦楽四重奏曲 第3番

シューベルト:弦楽五重奏曲 *チェロ:遠藤真理

(企画制作:長野市芸術館)

協賛：FBC

ニューイヤヤーコンサート2026
ウィーン・リング・アンサンブル

2026.1.10 土 チケット発売中

14:15開場 15:00開演/大ホール

S席・車いす席 ¥8,000 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000(小～大学生:半額)

特別協賛会員・友の会会員 2割引! Piano Stars特典: S席半額

出演/ヴァイオリン:ライナー・キュッヒル、ヴァイオリン:ダニエル・フロシャウアー、ヴィオラ:ハインリヒ・コル

チェロ:シュテファン・ガルトマイヤー、コントラバス:ミハエル・ブラデラー

フルート:カール=ハインツ・シュッツ、クラリネット:アレックス・ラドシュテッター

クラリネット:ヨハン・ヒントラー、ホルン:ロナルド・ヤネシツ

曲目/J.シュトラウスII:ワルツ「芸術家の人生」、喜歌劇「ジプシー男爵」から「序曲」

C.M.ツィラー:ワルツ「ウィーン市民」 ほか

先着130名様無料ご招待!

対象/小学1年生～18歳以下
受付期間/12/27(土)17:00まで 詳細はこちら



無料バス運行
(無料バス運行)
ハーモニホール
ファンタジーパーク



すぎはらなつみ ●福井県鯖江市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。フリーランスの演奏家として北陸を拠点に全国で音楽活動を行う。プロオーケストラ等への客演をはじめ、アーティストのライブサポート、スタジオワークやジャズ・タンゴのアーティストとのコラボレーション等、その活動は幅広い。Miss World Japan 2017 ファイナリスト、タレント部門1位及び「ミス・日本伝統文化」受賞。

小学生の時、当時の音楽の先生に憧れてブラスバンド部に入った杉原さん。そこで出会ったのがフルートでした。中学は吹奏楽部に所属し、高校では音楽大受験を見据えています。上手な先輩方の努力を見て練習の大切さを知ったことが、自分の原点になっています。

2017年には、ミス・ワールド・ジャパンでタレント部門1位と「ミス・日本伝統文化」に輝きました。これは知性や個性など人間性を評価されるコンテスト。受賞後は被災地を訪問して演奏する機会も増えました。故郷への想いも熱く、ふるさと鯖江文化大使やふくいブランド大使として活躍。「越のルビアーティストバンク」立ち上げ時から加わり、福井での演奏も継続しています。来年3月には、ハーモニーホールふくい「美音」クラシックdeプレーメンの

「子どもやクラシック音楽に馴染みのない方などがコンサートに足を運び、生の演奏を聴くきっかけになれば」と意気込みます。



2025年6月21日(土)「美音-Mion-5th Concert ～クラシックdeプレーメンの音楽隊～」/水見芸術文化館



2025年6月15日(日)「コレギウム・ムジク富山 第30回 定期演奏会」/富山市婦中ふれあい館。モーツァルト「フルト協奏曲第2番」のソリストとしてゲスト出演。

■今後の活動予定
2026年1月25日(日)11時開演：ホールでオーケストラ！/富山県民会館
2026年3月7日(土)11時開演：越のルビアーティストの演奏動画もご覧ください。
https://www.hhf.jp/artistbank/
2026年3月22日(日)14時開演：ライブライオンコンサート/鯖江市文化の館
■杉原夏海・公式ホームページ https://natsumi-hi.jimdofree.com/home/

越のルビアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんふれあい福井財団にご支援をいただいております。

福井ゆかりの音楽家
越のルビアーティスト
杉原夏海 (フルーティスト)

ジャンルを越えた音楽活動。
コンサートに足を運び、
生の演奏を聴くきっかけに。

小学生の時、当時の音楽の先生に憧れてブラスバンド部に入った杉原さん。そこで出会ったのがフルートでした。中学は吹奏楽部に所属し、高校では音楽大受験を見据えています。上手な先輩方の努力を見て練習の大切さを知ったことが、自分の原点になっています。

大学の演奏家としては違い、1人の演奏家として扱われるように。先輩や同級生とのステージを重ねる中で、プロの道が見えてきました。「フルートに限りの可能性を感じました。素敵な仲間とも巡り合い、彼らと一緒にいろいろなことをやってみたくて」と、ゲーム音楽やポップス、ジャズの演奏にも参加。ジャンルの垣根を軽やかに越えていきました。

まず」と話します。

杉原夏海 (フルーティスト)

10 牛田智大
ピアノ・リサイタル2026
(火)
●小ホール ●19:00開演
●全席指定:6,000円
(当日500円増)
●エンタメスタイル
☎076-256-5538
(平日11:00~17:00)

14 NPO法人
ふくい子どものための音楽教室
第14回 演奏コース発表会
(土)
●大ホール ●9:50開演
●無料(関係者のみ)
●NPO法人
ふくい子どものための音楽教室
☎0776-97-6833

15 ミュージック・イン・ザ・ダーク®
～闇に響く音～
(日)
●小ホール ●15:00開演
●全席指定・車いす席:3,000円
障がい者手帳をお持ちの方・介助者:各2,500円
障がい者手帳をお持ちの学生:1,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

20 ハーモニーホールふくい
オープンデイズ
「スプリングフェスティバル」
(金・祝)
●大ホール ●13:00開演
●入場無料
20日~22日の3日間
「アートツアー」「オルガン探検ツアー」
も開催!(要申込)
☎(公財)福井県文化振興事業団 管理部
☎0776-38-8288

21 20th Anniversary
福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー
成果発表会
(土)
●小ホール ●16:00開演
●入場無料(要整理券)
☎(公財)福井県文化振興事業団 事業部
☎0776-38-8289

22 ハーモニーホールふくい
オープンデイズ
「スプリングフェスティバル」
(日)
●大ホール ●13:00開演
●入場無料
☎(公財)福井県文化振興事業団 管理部
☎0776-38-8288

28 Clavier Studio
Piano Concert
(土)
●小ホール ●12:30開演
●無料(関係者のみ)

29 ピアノ発表会
(日)
●小ホール ●12:30開演
●無料(関係者のみ)
☎田島
☎0778-62-1588

31 福井県立
高志中学校・高等学校
弦楽部 定期演奏会 2026
(火)
●小ホール ●18:30開演
●無料
☎福井県立高志中学校・高等学校
☎0776-24-5175

21 HARMONY HALL FUKUI presents
ミュージカル「雪の女王」
(土)
●大ホール ●14:00開演
●S席・車いす席:4,500円
A席:3,500円 B席:3,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

22 HARMONY HALL FUKUI presents
ミュージカル「雪の女王」
(日)
●大ホール ●14:00開演
●S席・車いす席:4,500円
A席:3,500円 B席:3,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

23 HARMONY HALL FUKUI presents
ミュージカル「雪の女王」
(月・祝)
●大ホール ●14:00開演
●S席・車いす席:4,500円
A席:3,500円 B席:3,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282
2月20日~23日は
「子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」対象公演
小学生~18歳以下無料ご招待
(先着順/要申込)
※申込方法はP.6をご覧ください

28 第31回 ビティナ・ピアノコンペティション
福井地区 入賞者コンサート
(土)
●小ホール ●13:00開演
●全席自由:800円
☎MPC楽器センター・福井 PTNA福井支部事務局
☎0776-52-0711

1 第29回 ふくいバンドフェスタ
(日)
●大ホール ●14:00開演
●全席自由:500円(中学生以下無料)
☎福井吹奏楽連盟 大学一般職場部会 成川
☎090-6819-4950

7 越のルビプロジェクト
美音
「クラシック de プレーメンの音楽隊」
(土)
●小ホール ●11:00開演
●全席指定・車いす席:2,000円
0歳~高校生以下:1,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282
「子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」対象公演
小学生~18歳以下無料ご招待
(先着順/要申込)
※申込方法はP.8をご覧ください

8 早稲田大学交響楽団
国内ツアー-2026 福井公演
(日)
●大ホール ●14:00開演
●全席指定 S席:2,000円
A席:1,500円 B席:1,000円
(学生料金は各500円引き)
☎早稲田大学交響楽団
☎concert.information@wso-tokyo.jp

31 ピアノ・エレクトーン発表会
(日)
●小ホール ●13:00開演
●無料(関係者のみ)

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2026.1.2.3]

25 第73回
福井大学フィルハーモニー管弦楽団
定期演奏会
(日)
●大ホール ●13:30開演
●全席自由:400円
(当日100円増)
☎福井大学フィルハーモニー管弦楽団 須藤
☎080-4521-7771

「若い芽コンサート2026」
出演者オーディション
「越のルビアーティストバンク」
登録オーディション
●小ホール ●10:00開始(予定)
●入場無料
(事前申込不要)
☎(公財)福井県文化振興事業団 事業部
☎0776-38-8289

31 めざましクラシックス in FUKUI
(土)
●大ホール ●15:00開演
●全席指定・車いす席:7,800円
☎福井テレビ コンテンツ事業部
☎0776-21-2235(平日9:30~17:30)

6 啓新高等学校吹奏楽部
第4回 定期演奏会
(金)
●小ホール ●18:30開演
●入場無料・全席自由(要整理券)
☎啓新高等学校 小野
☎0776-23-3489

8 第49回
北陸アンサンブルコンテスト
(日)
●大ホール ●9:00開演
●全席自由:1,300円(当日200円増)
※未就学児入場不可
☎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

11 令和7年度
認定こども園 梅園幼稚園
生活発表会
(水・祝)
●小ホール ●①11:00開演/②14:30開演
●無料(関係者のみ)
☎認定こども園 梅園幼稚園
☎0776-38-5811

20 HARMONY HALL FUKUI presents
ミュージカル「雪の女王」
(全)
●大ホール ●14:00開演
●S席・車いす席:4,500円
A席:3,500円 B席:3,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

10 ニューイヤーコンサート2026
ウィーン・リング・アンサンブル
(土)
●大ホール ●15:00開演
●S席・車いす席:8,000円
A席:7,000円 B席:6,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282
「子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」対象公演
小学生~18歳以下無料ご招待
(先着順/要申込)
※申込方法はP.7をご覧ください

11 第39回 福井地区吹奏楽
アンサンブルコンテスト
(日)
●大ホール ●10:00開演
●無料(関係者のみ)

12 第39回 福井地区吹奏楽
アンサンブルコンテスト
(月・祝)
●大ホール ●10:00開演
●無料(関係者のみ)

17 第59回 カワイ音楽コンクール
福井地区予選
カワイ こどもピアノコンクール
オーディション
(土)
●小ホール ●10:05開始
●無料(関係者のみ)
☎萩河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

18 「ステージできく」プレミアムコンサート
近藤 薫プロデュース
リヴァラン弦楽四重奏団 +1(プラスワン)
福井公演
(日)
●大ホールステージ ●15:00開演
●全席指定・車いす席:4,000円
☎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

18 第59回 カワイ音楽コンクール
福井地区予選
カワイ うたのコンクールオーディション
カワイピアノコンクール 予選会
(日)
●小ホール ●10:05開始
●無料(関係者のみ)
☎萩河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

24 第59回 福井県吹奏楽
アンサンブルコンテスト
(土)
●大ホール ●10:00開演
●全席自由:1,300円
(会場にて当日券販売)
A席:3,500円 B席:3,000円
☎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

※□部は、当ホールの自主公演でP.3~P.8、P.18に見どころなどが紹介されています。(1/10、1/18、1/31、2/20~2/23、3/15)は、小学生から大学生まで半額
※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(12/3時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

企業の文化活動促進プロジェクト

ビジネスパーソンのための文化芸術セミナー



本セミナーは、県内企業に文化芸術に親しむ機会を提供し、支援活動の輪を広げることを目的に、福井県と福井商工会議所の協働で開催しました。ビジネスパーソンが文化芸術に触れ、アートと経済社会の関わりについて考えることで、新たな価値を生み出すヒントを得る機会となりました。「越のルビーアーティスト」によるミニコンサートで音楽の魅力も間近で感じていただきました。

第1回 9.18[木] 会場 / 福井商工会議所ビル

アート思考を体験する

～現代アートから学ぶ社会を前に進める視座～



ハカキを立体作品にするワークショップも

独創的なコンセプトで行動と文化を変革する

アート思考とは、自分の興味を起点によく観察し、新しい発見を導く思考法です。長谷川氏は「探究・発見を通じて既存の枠を超えたオリジナルの発想が生まれる。この発想がすぐれたコンセプトと結びつき、人々の行動や文化を変える力となる」と語りました。

講師

株式会社 E&K Associates 代表
青山学院大学大学院
国際マネジメント研究科非常勤講師

長谷川一英氏

アート思考を用いた人材育成研修を展開。産業界とアートの協働で未来社会の創造を目指す。

ミニコンサート

ピアノ：谷口佳奈香氏
ヴァイオリン：岩上杏子氏



第2回 10.15[水] 会場 / ハーモニーホールふくい

文化資産を活かした企業戦略

～企業経営者から成功につながった秘訣を聞く～



文化事業が会社ブランディングに社員のモチベーションもあがる

解体予定だった古民家を地域に残す活動を行った油機エンジニアリング株式会社と、造船所跡地を30年間アート活動のために無償提供する千島土地株式会社の事例をお聞きし、企業が文化に関わる意義と社内外から生まれる価値を学びました。

講師

油機エンジニアリング株式会社 代表取締役社長
牧田尚起氏

地域に残された歴史的建造物を保存活用する取り組みでメセナアワード2011解体新生賞を受賞。

千島土地株式会社 取締役名誉会長
芝川能一氏

不動産賃貸、航空機リースを手掛けるほか自社保有資産を生かした魅力向上に貢献。2011年、北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想でメセナ大賞受賞。



ミニコンサート

クラリネット：豊永美恵氏
ピアノ：松永みなみ氏

第3回 10.23[木] 会場 / ハーモニーホールふくい

アートをビジネスに活かす企業戦略

アーティストの世の中にもないものを生み出す
発明家思考と創造性を学ぶ

徳光氏はAI時代におけるこれからの人材像を提示し、制作・発信・販売・改善を自ら行う起業家的行動のアーティストの存在に触れ、「アートもビジネスもモノではなくストーリーと世界観が人を動かす」と語りました。

講師

株式会社タグボート 代表取締役
徳光健治氏

大学卒業後、双日、アーサーアングラーセン、サイバードを経て現代アートギャラリー運営とオンライン販売を手掛ける。



ミニコンサート

ピアノ：大宅さおり氏



企業も取り組むアート

ふくい文化創造センター 活動ニュース

「ふくい文化創造センター」では、文化芸術に関する専門スタッフが、文化団体の活動の相談に応じたり誰もが文化芸術を楽しめる環境づくりを行っています。今回は企業と文化活動をつなげる取り組みを紹介します。

企業の文化活動促進研究会 発足

福井県は「福井県文化振興プラン」(令和6年4月策定)の中で、文化芸術を通じた経済活性化を重点に掲げています。企業の文化活動は、企業内への柔軟な発想の導入、優秀な人材の確保、新たな企業価値の創造など、多面的な効果が期待できると考えています。こうした意義への理解を深め、文化活動に積極的に取り組む企業を増やす仕組みや方策を検討するため、研究会を設立しました。(令和7年4月～8月において計5回開催)



企業が文化活動を行う上での現状と課題

福井県内に企業アンケートを行ったところ、次の課題がみえてきました。

- 文化活動は余裕のある企業だけが行うものというイメージが強く、解消が難しい。
- 文化活動が新しい発想や気づきを生み、組織の活力向上につながる意義を社内で広く共有していくことが重要。
- 多くの文化活動をしていても、その内容や成果が県民に十分伝わっていない。

解決のためにまずはここから

調査・研究の方向性

本研究会では、企業が文化活動を行う上での課題として出された意見をもとに調査・研究する3つの柱を定めました。

1 企業や社員に意識づけをするには？

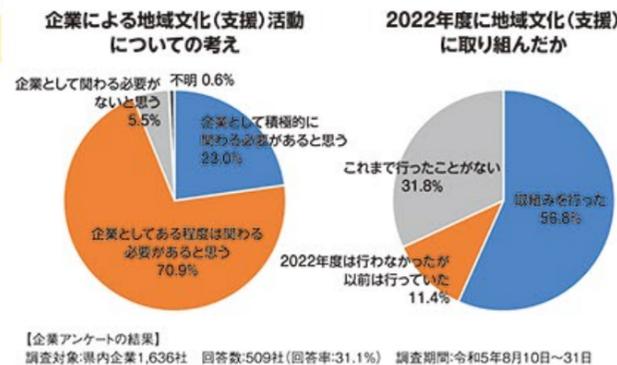
文化活動の意義やメリットを伝え、経営層に理解を広げ、資金提供だけでなく主体的な取り組みを促す。

2 文化活動に取り組みやすくするには？

企業が「やってみたい」と思ったときに参加しやすい仕組みを整える。

3 企業が文化活動を行うメリットは？

文化活動を行う企業のイメージを高め、活動の拡大につながる仕組みを検討する。



今後、県内企業を対象にアンケートを実施し、取り組んでいる文化活動や研究会テーマに対する意識・見解を把握することなど、研究を深めていきます。

本研究会の中間報告書はこちらからご覧いただけます。



今年の7月に就任しました!



アーツカウンシル部門ディレクター 渡邊 一孝
だれもが文化芸術を楽しめる環境作りには、県民の新しい試みが注目され、盛り上がる気運が大事ですね。企業の皆さん含め、何かを始めたい方、関わりたいけど動き方が分からない方、ハーモニーホールでお待ちしております!

問い合わせ・相談はコチラへ

公益財団法人 福井県文化振興事業団
ふくい文化創造センター

TEL.0776-38-8280
(9:00～19:00・休館日を除く)



キーパーソン

「横町編集部」みんなのみんなプロジェクト
代表 三浦紋人さん



みうらもんど●1994年福岡市生まれ。関西大学環境都市工学部建築学科卒業。同大学院修了。2017年より大野市と関西大学の連携事業にて地域拠点横町スタジオの立ち上げに参画。2020年より大野市地域おこし協力隊として市内の空き家の流通および活用促進の啓発を行う。関西大学客員研究員。

民話からはじまる地域文化の再創造
土地と自然と社会の関係を冊子に

三浦さんが発起人となった「みんなのみんな」プロジェクトは、大野市の民話を下敷きに現代社会の問題を内包した物語を創作し、課題解決に生かそうという取り組みです。もともと大野市の空き家を調査していたところ、土地や街道の呼び名に歴史的な奥深さがあることに気付きました。「大野市に残る民話には、人間と自然、他の生き物と共生してきた背景がありました。過去の伝承を知ること、住民が共同体の価値観を再認識するきっかけにもなるのではと考え、大野で暮らすヒントを民話づくりに委ねようと企画しました」

本プロジェクトには市内外の建築家やデザイナーなど約10人が参加しています。まずは図書館司書から民話を聞き、次いで民話講師から街歩きをしながら物語の視点や作り方を、アニメーション作家からは挿絵の技法を教わりました。こうした学びを生かして、各



「みんなのみんな」活動の様子。今年9月、大野の印刷室などを会場に、アニメーション作家のおとしぶみさんを迎え、参加者が挿絵を考えました。



拠点である横町スタジオで毎月第3土曜日に実施している横町録日。住民や学生がそれぞれ持ち寄り、飲食やパズルを介して交流を図っている。

自が大野の民話のエッセンスを取り入れた物語作りに挑戦。そして登場人物を通して環境問題や人口減少を問いかけて、新しい解釈を加えていきます。今後は参加者が自作の民話を人前で語るよう、「ストーリーテリング(語り手)」の育成にも取り組む予定です。事業の集大成は、12月20日に大野市の中心市街地で展開する「みんなのみんな博」です。全国から民話伝承に取り組み団体なども集まる予定で、冊子の販売や、民話をテーマに歌って踊るイベントも計画しています。「この会を、地域内外の人が集まって、創作活動を展示・販売する新しいビジネスの場としても活用してほしい」と三浦さん。そして「民話は地域の文化的資源。将来的には空き家を改修した文化拠点が増えて物語をつくる人が集まる町になったらうれしい」と、中長期的な視野で文化と地域活性化の基盤づくりに意欲を見せます。

【横町編集部】大野市と関西大学が2018年に学生と住民の協働によるまちづくりを担いとして連携。現在、ふとん店をリノベーションした地域拠点「横町スタジオ」を運営している。2021年10月設立。12月20日(土)横町スタジオを中心に街中3カ所で創作民話、民芸品、バンドなど民話をキーワードにしたお祭り、「みんなのみんな博」を開催予定。

■活動報告はこちら
onoyokomachistudio

※アートプロジェクト支援事業助成金の採択事業と活動者をご紹介します。

アートの息吹

AKUSHU (福井市)

一見すると普通の本屋さん。けれどよく見ると、前列にあるはずの週刊誌や新刊本コーナーは見当たらず、学習参考書や問題集の棚もありません。代わりに福井が舞台の小説が山積みされていたり、中身の見えない不思議な文庫本コーナーが入口に陣取っていたり。そしてふらりと店内を見ていると「どんな本をお探ですか?」と店員さんから声をかけられることも。店長の石田美香さんは「普段あまり本を読まない人に、そして読む人には新しい視点から、本を楽しむ機会を提供したい」と話します。

店を象徴する活動が「つながる本ギフト」。月会費3300円で本が1冊届く「私へのギフト」と、病院や施設などに月1冊本を寄付できる「あの子へのギフト」の2コースあり、本は石田さんが要望に沿って選んでくれます。開始約2年半で寄付は70回を超え、感謝の声も多数届いているそう。

開店当初は「人と本、人と人をつなぐ場所」として、店舗は会員の交流基地にもなっていました。コロナ禍などで計画通りに進まず一時は存続の危機に。そこに手を挙げたのが「エルバ」でした。施設内に店舗している店、さらには活動趣旨に賛同した一般企業や個人が「本ギフト」の会費を通して運営に協力。店は本の寄付を通じて社会への還元を図り、読み聞かせ会や本の交換市などを開催して「人と人の交流の場」との思いも受け継いでいます。

AKUSHU BOOK&BASE

福井市のショッピングセンター「エルバ」にある本のセレクトショップ。2020年に開店し、22年12月からエルバの直営となった。特徴のある品揃えと、会員制の本のギフトや大人も参加できる読み聞かせ会など、ユニークな活動を行っている。
福井市大和田2-1212 Lpa2F
TEL.0776-57-2600
10:00~20:00(休業日はエルバに準ず)
https://akushu-fukui.com
akushu_books

※「アートの息吹」は県内企業のアートを通じた社会貢献活動をご紹介します。

アートプロジェクト インフォメーション 各イベント情報の詳細はこちらをご覧ください



みんなのみんな博

12/20(土) 10:00~18:00

奥越の山深い福井県大野市に息づく民話を手がかりに、まちの面白さを発見する「まち博」を実施します。まち歩き・トーク・WS・飲食・物販を通じて、来場者が「まちを楽しむきっかけ」や「後世に残したい生きる知恵」として民話と出会う一日にしたいと思っています。

●【メイン会場】大野市元町2-9 その他会場あり ●入場無料
◎横町編集部 ☎yokomachi.hensyubu@gmail.com

コンテンポラリーダンスワークショップ part2
「好きな景色をモチーフに五感で表現する」

2026.1/17(土) 14:00~15:30

身体を全てを使う即興表現での交流ワークショップ。何気ない時間空間に存在するあらゆるものからヒントを得て身体を全てを駆使し、即興で身体表現を行います。年齢・舞台経験不問、どなたでもお気軽にご参加ください。

●田原可ミュージアム(福井市田原1-20-1) ●500円
◎NPO法人福井芸術文化フォーラム ☎0776-23-6905(平日12時~18時)

アートプロジェクト支援事業助成金は、地域文化の発信や新たな地域文化の創造、地域課題の解決に寄与することを目的に、県内各地で文化芸術を活用した地域活性化に取り組む事業を支援しています。



(公財)福井県文化振興事業団のホームページでは助成事業の一覧をご覧いただけます。



ふくいとどき劇場「THE 市民劇〜I am〜」

2026.1/11(日) 18:00開場 18:30開演 20:00終演予定

ふくま大学と共催で始動した「ふくいとどき劇場」は実に20回程度のワークショップを重ねて18名の参加者と共にゼロから演劇作品を創り上げました。自分たちが日々感じているモヤモヤや問い、過去の体験などをシェアしながら対話を行い、それらをもとにゼロから創り上げた演劇作品です。

●ハビリンホール(福井市中央1丁目2-13階) ●1,000円
◎WAKU ☎wakuwakufukui@gmail.com

展示&トーク「小さな記録を持ち寄って、」

2026.2/7(土)~15(日) 13:00~18:00 ※14日のみ17:00まで

福井に住む市井の人々が記録したホームムービー、およびその提供者に行った聞き取りのアーカイブ展示。14日17時から、AHA!(人間の営みのためのアーカイブ)の松本篤さんをゲストにトークイベントを開催します。

●わおん書房 ●無料 ※トークイベントは1,000円(要予約)
◎福井コミュニティ・アーカイブ(仮称) ☎090-2925-6472
☎info@sou-ba.jp

アーツカウンシル部門からのお知らせ

アートプロジェクト支援事業助成金 個別相談会

2026.1/6(火)~2/28(土) 毎週火曜と金曜 ※2月のみ毎週土曜も令和8年度アートプロジェクト支援事業助成金への応募を検討されている方を対象に個別相談会を開催します。詳細は事業団HPをご覧ください。

◎(公財)福井県文化振興事業団 ふくい文化創造センター
☎0776-38-8280 ☎0776-38-8285
☎geibun@hkf-cf.or.jp

福井城を「葵城」と呼ぶ古里の記録

建築家
櫻川幸夫



さくらがわ ゆきお ●1950年福井市生まれ。福井大学工学部建築学科卒業。1973年建築設計事務所勤務。1987年にアーサー級建築士事務所を設立。(一社)福井県建築士事務所協会会長を経て現顧問。構造設計一級建築士。福井市酒生地区「歴史語り部」、シンガソングライター(プレーメン2020所属)。

コロナ禍の始まった2020年のお盆。爽やかな涼風の中、私は大正から戦前の古新聞記事が貼られたスクラップ帖^①を、光に透かすようにめくっていました。

このスクラップ帖は隣村の遠戚で小学校の美術の先生をされていた方の遺品で、息子さん夫婦から私に託されたものでした。

昭和11年7月7日七夕の日の、とある座談会の様子が記された紙面が現れました。場所は養浩館(松平別邸)、お泉水です。福井市の石野庄次郎助役、松平侯地所部の佐竹政治氏、市橋重吉福井図書館長ら福井藩士要人ら計13名



昭和11年7月7日大阪毎日新聞の記事。見出しは「葵城…」から始まっている。

が連続6日間集い、福井城址の総合整備方針を決める重大な会合でした。記事の見出しは「葵城の今昔と将来を聴く」この「葵城」とはいつだったとお城のことなのか?

数日後、きれいな隅櫓の大きな写真記事「福井の今昔 戀の三十二萬石!」(葵城異櫓の巻①)「昭和11年8月30日大阪毎日新聞」も見つけました。解説には「(中略)、このあたり夜な夜な恋愛病患者がさまよっていると聞く。世も末かな、と嘆く福井藩士の悲憤の涙も宣なるかな。」

戦時下に「城址内でアベックなど実にくしからん!」という論調ですが、驚くべきことに、これらの記事の城は紛れもなく、我が「福井城」のことだったのです。

読んだ瞬間、私は窓の外の福井の街の彩が変わって見え、ドラマ・水戸黄門の名場面「この紋どころが目に入らぬか!」、その葵の御紋が福井と深い縁があったとは。楽しく誇らしい気持ちになりました。



昭和11年8月30日大阪毎日新聞の記事。県議会議事堂などが建設された当時と異櫓が建っていた頃のかつての葵城(福井城址)を比較した内容。

グリフィス先生2度目の来福の逸話を知る「異人館」別館の奥様は、これらの記事を見るや否や「福井は、格が違うわねえ」と一言。その言葉に背中を押されつつ、何も知らなかった私は福井城のことを少しずつ調べ始めました。

「葵城」の呼称は徳川家の家紋、「三ツ葉葵」の紋に由来します。まさに福井城は家康公が自ら本丸・二の丸と縄張りをし、1600(慶長5)年の関ヶ原で西軍を敗った際にその戦功を称え築いた城です。その栄光の天守に、葵の紋どころが輝いていた、その光景からいっしか「葵城」という愛称が生まれたのだと思われま。

した。福井市が昭和16年に発刊した「福井市史」では、「本公園(現在の福井市中央公園を指す)を葵城にちなみて葵公園と命名せり。」との記述が見られます。昭和20年の終戦までは「福井市中央公園(葵公園)」とも呼ばれており、「中央公園開発履歴」表にも名残が見てとれます。令和11年には公園側に坤櫓が復元されます。完成の晩には城郭全体を偲ぶ上でも、旧公園名の「葵公園」の添え書き復活があっても良いのではないかと思います。終わりに「葵城」。これは徳川御三家のお城といえどもそう呼ばれることはなく、全国で唯一、御家門家の越前「福井城」だけの呼称でした。

江戸時代には春爛漫の一日に、「城内の花見」または「城拜み」と呼ばれる行事があり、福井藩でも旧城下の庶民が本丸や天守台を巡りながら桜を愛でたそうです。この粋な風習に思いを馳せつつ、いつの日か皆さまとともに、「葵城」の面影漂う風景を眺められたら願っています。

※「葵城」小冊資料は最寄りの図書館にてご覧いただけます。

古きを訪ねて

武生天神

丹南地域 鯖江市・越前市・越前町



①「武生天神」(越前町小曾原一才庵蔵)。高さ60センチほど、頭部や手などが差し込み式
②内藤タンス店の「武生天神」。家庭で飾らなくなった天神を展示している
③鈴木彫刻所の鈴木良一さん。全国の社寺などの装飾彫刻が専門で、榿一木造りの天神像やだるまなども製造

背景に仏師や面打の技

嶺北地方で天神様といえ、長男が誕生すると母親の実家から贈られる掛軸や人形が思い浮かぶのではないのでしょうか。実は家庭で天神を祀るのは、主に北陸や山陰、東海地方独特のよう。なかでも3月の節句に彩色木彫の「武生天神」を飾る丹南地域の風習は、全国でも珍しいものです。

起源の一つには、戦国時代に越前府中(旧武生・現在の越前市)に入府した前田利家に由来する説があります。利家は菅原道真の末裔と称し、道真を祀る天神を信仰しました。民衆がこれを作ったとされ、やがて周辺の地域にも広がったといわれます。

木彫りの天神像が普及した背景には、この地に仏師や能面を彫る面打が多くいたことが関係しています。一説には有名な面打の越前目家が始まりとも。また、作者名がわかる像があることや、明らかな意匠の違いから、何人もの仏師が製作していたこともうかがえます。



■内藤タンス店 越前市本町3-41 ☎0778-22-0859



■鈴木彫刻所 鯖江市平井町55-13-1 ☎0778-62-1836

越前市の内藤タンス店には大型の古い「武生天神」が何体も展示されていて、違いを比べてみる事ができます。現在、こうした大きな像の製造は途絶えましたが、昭和の半ばに始まった榿一木造りの天神は、今も製造が続けられています。手がけるのは鯖江市で社寺装飾の鈴木彫刻所を営む鈴木良一さん。越前市で天神造りを始めた先代の作風を受け継いでいます。首里城の装飾彫刻も手がけた第一級の技で彫り上げる天神は、美しい木目と威厳ある顔立ちのなかに優しさの漂う表情が特徴。時間と手間をかけた木彫芸術です。一方、同じ嶺北地方でも福井市以北では、大晦日に天神掛軸を床の間にかけて、1月25日の天神講に焼きガレイを供えます。また、江戸時代の福井城下では、夢楽洞万司が描いた「万司天神」が人気を博した時代もありました。「万司天神」は、福井県立歴史博物館の常設展示で見ることができます。

公開オーディション開催のご案内

主催：(公財)福井県文化振興事業団

令和8年度「若い芽コンサート2026」出演者および「越のルビーアーティスト」登録のための公開オーディションを開催します。皆様からのご応募、お待ちしております。

若い芽オーディション

若い芽コンサートは、音楽を学ぶ福井県ゆかりの中学生・高校生を対象に、プロの弦楽四重奏団との共演など、さらなるレベルアップの場を提供することを目的として2006年から毎年開催しています。当オーディションでは、2026年8月に開催する「若い芽コンサート2026」の出演者を選定します。

(主催：(公財)福井県文化振興事業団、福井新聞社)



募集要項▲



「若い芽コンサート2025」からフェスティバル・カルテットとの共演の様子。

越のルビーアーティストバンク登録オーディション

当バンクは、クラシック音楽のアーティストを必要とする県民の多様なニーズに応えるべく設置されました。登録者には、当事業団の主催事業での依頼をはじめ、県内企業・団体からの依頼演奏等の斡旋も行っていきます。また、公式サイトやリーフレットにて年間を通して広く紹介します。

(主催：(公財)福井県文化振興事業団 協賛：(公財)げんでんふれあい福井財団)



募集要項▲



県内中学校・特別支援学校を訪問する「出張音楽堂」の様子

開催日時／2026年1月25日(日) 10:00~16:00(予定)

会場／ハーモニーホールふくい 小ホール

部門／ピアノ、器楽・作曲、声楽

審査員／会田莉凡(ヴァイオリン奏者、京都市交響楽団ソロ・コンサートマスター、札幌交響楽団コンサートマスター)

今川裕代(ピアニスト、大阪芸術大学教授、越のルビーアーティスト)

福川伸陽(ホルン奏者、東京音楽大学准教授)

山根悟郎(音楽事務所 オフィス山根 代表、文筆業、プロデューサー)

吉田珠代(ソプラノ歌手、二期会および新国立劇場 オペラ研究会 講師、二期会会員、越のルビーアーティスト) (敬称略・50音順)

20th Anniversary 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー 成果発表会

協賛：FCTV S-TV

小学生から大学生までの弦楽器を学ぶ子どもたちが、開講20周年を記念し、セミナー卒業生でもあるヴァイオリニスト篠原悠那をゲストに迎え、ステージに立ちます。輝きを放つ若き音楽家たちの演奏をお楽しみください！

開催日時／2026年3月21日(土) 16:00開演

会場／ハーモニーホールふくい 小ホール

料金／入場無料(要整理券) ※2歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。

出演／篠原悠那(ゲスト：ヴァイオリン)、福井ジュニア弦楽アンサンブル ほか

整理券配布開始日 1/24(土)10:00~(窓口・電話)

(協力：福井水仙ロータリークラブ)



篠原悠那



令和6年度「成果発表会」の様子

上記2事業・お問い合わせ (公財)福井県文化振興事業団 事業部 TEL.0776-38-8289(9:00~19:00・休館日を除く)

編集後記

挑戦や変革に相応しいとされる巳年も残り僅か。福井県文化振興事業団では、この春から新規にインクルーシブ研修と事業に取り組み、先日実践として「バリアフリーコンサート」を開催したところ。ダンスパーティーに見立てた演奏会。客席内は、初めてホールに足を踏み入れた子どもたちの興奮や、穏やかな気候と同じく柔らかなあたたかな雰囲気にあふれていました。演奏会後は、紅葉の残るホールの前庭で思いっきり走り回る親子が何組も。「インクルーシブ」とは、特別なことではなく、皆が優しい気持ちでお互いを思いやりながら過ごすことなのかもしれない、と多くのスタッフや研修生が実感した一日になりました。

来年は「飛躍」の意味を持つ午年。力むことなく自然体で「誰もが楽しめる」事業展開を目指します。

【ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名】 ※50音順

公演協賛社(2025.4-2026.3)

URALA communications 関西電力 power with heart

(公財)げんでんふれあい福井財団 Kancon 興和江守株式会社

NICCA FM FUKUI

福井銀行 FCTV SETV

福井新聞社 福井信用金庫

福井テレビ FBC

FUKUVI 株式会社増田喜

ますも証券

法人協賛社

JAKUETS 株式会社新内 福井県民福井 福井銀行 福井県JAバンク

福井信用金庫 福井フィナンシャルグループ FUKUVI 北陸銀行 三井商事株式会社

Essay

創造性をまちの力に
—越前市のユネスコ創造都市ネットワーク加盟に寄せて—

文 朝倉由希

10月末、越前市がユネスコ創造都市ネットワークのクラフト&フォークアート分野で加盟認定を受けたとの発表があった。ユネスコといえは、世界遺産や無形文化遺産の登録制度で知られるが、創造都市ネットワークは現に生きている文化的活動や創造産業を促進するための国際的な連携の枠組みである。2004年に創設されたから現在までに世界で408都市が加盟しており、今回の越前市は国内で12番目、県内では初の加盟となる。

私が「創造都市」という考え方に出会ったのは、2000年代のはじめごろだった。「創造性」といえば、独自のアイデアや作品を生み出す人間の能力を指すことが多い。では、「地域が創造的である」とは、どのような状態を指すのだろうか。

この考え方は、かつて鉄鋼業や造船業などで栄えたヨーロッパの産業都市が、20世紀後半の衰退を経て、芸術や文化の力で再生を遂げた事例に基づき提唱された。2000年以



伝統工芸「越前和紙」「越前打刃物」「越前箆筒」を今に受け継ぐ越前市(提供：(一社)越前市観光協会)

降、日本でも創造都市の理念が広まり、自治体の文化政策や都市政策に取り入れられていく。それまで芸術文化といえば、経済的な余裕があるときに楽しむ「ゆとり」として語られることが多かった。しかし創造都市の考え方は、芸術文化を単なる余暇ではなく、地域経済や社会の再生を牽引する「創造の原動力」として位置づけた点に大きな意義がある。芸術文化を地域発展の基盤に置く——この考え方は、芸術や文化の公共的な価値をどう説明できるのかを模索していた当時の私にとって、きわめて魅力的に感じられた。

創造都市論の代表的論者であるランドリー、フロリダ、佐々木雅幸らは、地域の文化的資源や伝統に根ざしながら革新を重ねること、市民一人ひとりが主体的に活動し、その創造性が発揮される環境を整えること、そして新しいアイデアを排除しない寛容さが重要であることを指摘している。芸術や文化は、地域のアイデンティティであると同時に、

人々の創造的な発想を促す触媒でもある。大切なのは、その地域ならではの資源に基づく内発性と市民の主体性であり、アートイベントや文化事業が盛んに行われるだけで創造的な地域になるわけではない。

越前市には、和紙や打刃物、箆筒といった風土に根ざした工芸が今も息づいている。加えて、創意工夫に富んだ市民活動も活発である。和紙という伝統もまた、アーティストを惹きつけ、表現の素材として新たな価値を生み出している。外からの刺激を柔軟に受け入れながら革新によって伝統をつないでできたところに、越前の創造性の底力を感じる。

創造性は、特別な都市だけが持つ資質ではない。どの地域にもその土地の文化資源があり、創造的な地域になれる可能性がある。私は信じている。越前市のユネスコ創造都市ネットワーク加盟が県内の各地域にとって、自らの文化資源を見つめ直し、創造性を育むきっかけとなることを願っている。



あさくらゆき●福井市生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする—社会の課題と文化をつなぐ現場から」(学芸出版社、2020)など。